常磐毎日新聞

日刊

三月七日　夕刊

定價 一部金貳錢 一ヶ月金五拾錢 郵税五厘
廣告料普通一行五拾錢、場所指定一行七拾錢
日曜祝祭日の翌日休刊
發行兼編輯人印刷人 坂本忠治
福島縣平、長橋町三五
發行所 常磐毎日新聞社 電話 六三〇番
印刷所 常磐毎日印刷株式會社
（振替口座）東京 四〇二一〇番

天氣豫報

今晩は北の風曇　時々晴
明日も北の風曇　時々晴

多血症は骨髓の疾患
病原と治療法を
平市松村鐵郎氏令弟が發見
四月一日の日本醫學會で發表

醫學會から不明とされゐた「多血症」の病原ならびに治療法が平市南町松村醫院松村鐵郎氏の令弟名古屋醫大齊藤外科副手松村亨醫學士(三一)によつて究明され來る四月一日から京都帝大で開催される日本醫學會で發表されることになり「醫學日本」に一つの金字塔を打ち建て非常時下に於て戰爭醫學が叫ばれて居る折柄頗る示唆に富む研究として注目されてゐる

醫學日本に金字塔

松村醫學士は昨年四月から眞正多血症の研究に着手、多血症患者が普通の人より二培三培の血量のため卑臟、肺臟腎臟等の外皮膚の

表面に 出血しそのため血壓が高くなり夜眠れず苦痛を訴へるヴアケー氏病となる病原並に治療法研究のため名醫大が誇るアルバクトを得て從來の貧血の際輸血する場合と反對の「多血輸血」を約六百頭の兎に

實驗し そのため普通の兎より二倍、三倍の多血になつた兎をあらゆる角度から研究した結果赤血球、血色素、血液量が二培乃至三培になる赤血球容積は減る、血清蛋白量、粘稠度、血清ビリルビン、血小板は增すこと、また兎を解剖してみると骨髓が著しく萎縮してゐることが判明これによつて今まで

醫學會 で不明とされてゐた多血症は骨髓の疾患と斷定されその治療法は瀉血が最適であることが判明したもので右につき齋藤眞博士は

松村醫學士の發表は「多血輸血による實驗的赤血球增多症に關する研究」と云ふもので多血症の病源が判明した許りかこれにより將來

戰地で 多血症患者から盛んに輸血すれば良い譯で戰爭醫學としての研究好題目で一面「血ノエコノミー」ともいへます

と絶讃してゐる

小名沖で衝突
江名の三吉丸遭難

江名町北町石川菊松氏所有漁船三吉丸(一四トン)は六日午後六時頃漁撈から歸港中小名濱沖合十浬の附近で所屬不明の材木滿載船と衝突航行不能に陷つてゐるのを發見急報に接した江名水難救濟會から救助船四隻出動乘組員を救助大破した漁船を江名港に曳行した

勇士の後を追へ
鐵路の錆となつた
看護婦の自殺原因判明

去る二日夜七時五十分頃好間村大字愛谷地內で平驛發郡山行下り旅客列車に飛び込み自殺を遂げた相馬郡上眞野村山中引地うめよ(二〇)さんの死の原因は種々取沙汰されてゐたが漸く判明した

うめよさんは昨年七月看護婦を志望して上京同十一月東京市本郷區駒込千駄木町某醫院に看護婦見習として住込みその傍ら東京看護婦學校に通學し本年五月の本試驗を準備中たま〳〵うめよさんの從弟である〇〇聯隊〇〇伍長荒川某君との縁談が持ち上つてゐたがうめよさんが看護婦試驗にパスすれば結婚させると云ふ母の言葉に雀躍して晴れの結婚生活を抱へて上京試驗に準備中であつたが去る一月頃第一線の荒川君から「どうせこの世では、一緒になれぬ自分は御國に捧げれ身体、靖國神社の礎となるんだ」から適當の男があつたなら幸福に暮してくれとの手紙に悲觀し尚極度の勉強過度から遂に神經衰弱となり去る一月下旬ふら〳〵と歸郷すべく平迄來磐越東線をうろ〳〵してゐる中驀進して來た列車に飛び込んだものである

機關銃も參加
壯烈な市街戰
青年校第三方部の演習

郡下第三方部青年學校の聯合演習は來る十二日頃行ふことゝなり昨六日平第一校會議室に役員會を開いたが參加は平市第一、第二、川前、桶賣、小川、赤井第一、第二、好間第一、第二、內郷第一、第二、飯野の十二校約五百名、平市を中心に壯烈な市街戰を演じる筈で當日は十餘臺の輕機關銃も參加するといふから實戰さながらのスリルに觀戰者の眼を奪ふことであらう

勿來信組

勿來町信用組合の第三十八回通常總會は十日午前九時から開かれる

青年學校の
体操講習會

縣では青年學校体操科敎授及び訓練要目の新設によりこれが趣旨徹底のため青年學校体操科擔任敎員並に敎授科指導員の講習會を各地に開くことゝなつたが講師は山本体育主事で平市及び本郡下の開催場所、日割は左の如くである

△三月十六、十七日平第一校講堂△同十八、十九日植田小學校講堂

古式に則り
公會堂上棟式
來賓百餘名を招待會

平市公會堂の上棟式は過般の風害により延々となつてゐたが五日午後二時から現物木組の中に地方有志百餘名が列席先づ縣社子鍬倉神社山邊神宮、縣社飯野八幡神宮の擧式により嚴かに式序は進行靑沼市長以下野崎議長、建築委員來賓總代八卷平署長、寄附者總代相原幸太郎氏等の玉串奉奠があり祝宴に移り木遣音頭も賑々しく宴酣なる頃、蛭田棟梁の烏帽子垂衣姿もあでやかにリヤカーに二俵の米俵を積みそれを蛭田棟梁がふんまへて古式ながらの棟梁送りの式を擧行、胡摩澤の師梁宅まで撒錢並に密柑祝餅を撒きながら途中請負者掘江工業前で三歲三唱し、無事に送り屆け公會堂上棟式は恙なく盛大に終了した

學窓から社會へ
翼たく青春
けふ磐中卒業式擧行

磐城中學校の第三十八回卒業式は既報の如く今七日午前十時から同校講堂で來賓父兄多數臨席の下に擧行

國歌合唱、敎育勅語捧讀、卒業證書授與及敎練合格證書授與と式は型の如く進行されたが終つて淺水校長の懇篤なる告諭に次いで知事の告辭を正木磐女校長代讀、來賓靑沼平市長、蓮沼縣議、關內同窓會長の祝辭あり在校生總代四年松尾匡博君の送辭、卒業生總代山崎道雄君の答辭卒業生父兄總代、平第二校長千葉右近氏の謝辭等あつて十二時近く校歌合唱裡に閉式した

江名町の人口

江名町の人口は所屬未定地編入の結果三月一日現在で七千七十三名に增加した旨この程縣報で告示された

家庭の不和
境內で自殺を圖る

五日早朝內郷村白水西光寺境內にたゝづみさめ〴〵と泣いてゐる女を瓜生巡査部長が發見平署に連行取調べを行つたが同人は東京市淺草區松葉町八一影山倉藏氏の妹で內郷村白水生れ伊藤けいと(三五)いひ嫁入先の家庭不和を苦慮し母の墓前で自殺する旨の遺書を殘し四日午前十時頃家出、前記境內で自殺を圖らうとしてゐたもので平署で目下保護を加へてゐる

業務上過失で
略式罰金廿圓

小名濱町字竹町橫山儀三郎(三一)は今七日平區から業務上過失傷害罪で略式罰金二十圓に處された

同人は山形縣最上郡新庄町自動車運輸業寺尾庄七氏方に雇はれ乘合自動車を運轉中過つて田圃に墜落乘客數名に二週間乃至三週間の傷害を負はせ實家に舞戻つたところを檢擧されたものである

電話拂底の小名
今から爭奪に大童
發展を物語るこの現象

商港の工事進渉と共に小名濱の躍進は目覺しいものがあり現在電話加入者は二百人位であるがこれでは取引に多大の不便を來して居り近く架設される電話申込みに對して既に當籤をねらつて暗躍を開始してゐる樣な現況を呈出してゐるがこゝにも躍進小名濱の潑溂とした姿が見られ小名濱の發展は商港開港と相俟つて期待される

九面青年團

勿來町九面青年分團は全團員が小遣錢を貯へこの程十五圓三十六錢を國防獻金として町役場に寄託

堀に顚落
役場書記の死

植田町役場書記同町大字東田字關下二七赤津龍松(六三)さんは四日夜同僚と酒を飲みその歸途川畑地內の水堀に轉落心臟痲痺を起し絕命した

落盤壓死

湯本町入山炭礦坑夫武藤勘三郎(二七)は五日午後十一時頃同礦第六坑で作業中落盤の爲め壓死

赤井元收入役に
懲役一年（求刑）
判決公判は來る九日

公金千八百圓を橫領發覺するや自殺する旨の遺書を送つて行方を晦しその後朝鮮新義州の列車內で逮捕された赤井村元收入役矢野淸(四八)市に係る業務上橫領被告事件の公判は五日平區廷淺野判事係り大脇檢事立會門傳辯護士列席の下に開廷立會檢事は懲役一年を求刑判決言渡しは來る十九日

青年校の入試
平職紹取扱分

平職業紹介所扱ひの青年學校生徒試驗は七、八の兩日同町樓上で執行志願者十四名であつた

七日は人物考査、八日學力試驗、次回の應募者は六十名でうち採用二十五名である

列車妨害犯人
けふ豫審終結
近く平支部の公判へ

既報――去る一月二十五日午後四時半頃常磐線大野――長塚驛間双葉郡熊町村大字夫澤地內の線路上に自轉車を橫へ列車の妨害を圖つた犯人双葉郡熊町村大字夫澤字荒戶澤炭燒業糸井兼治(三五)は過般來平支部の豫審に附され關口判事係の下に取調べを受けてゐたが今七日豫審終結〃汽車往來妨害罪〃で起訴され、近く平支部で中谷裁判長係りで公判開廷

同人は醉の結果前後不覺に陷つて置捨てたものだと申立たが前記自轉車は盜んだものであり而も使用に堪へない代物なので故意にやつたものとみられ遂に有罪と決定されたものである

二階から飛降り
全治六週間の傷
平署員に踏まれ賭場で

五日小名濱町竹町三二辻野八太郎(三三)方でトータン博開張中平署員に踏込まれ一味六名は逮捕されたがその時逃走を企てた目澤淸(三五)は二階から道路上に飛降り足部挫骨折し全治六週間の負傷を負つた

小名濱だより

▼石城郡小名濱町縣水產試驗場に於て五日午前十時より底曳漁業整理評議員會を開き兼て農林省令により本縣底曳漁業に對し現在百廿艘を八十艘に減船すべき事となつた事は其の整理案を研究附議した

▼小名濱町にては著しく膨脹せる町豫算に對し其財源を求むる上に非常なる苦心を醸すに至り町當局は其財源を町營魚市場に需めんとせる方針を樹て漁業組合に向つては既に公文をもつて町豫算編成の苦哀を披瀝し一大讓步の襟度に出てられ度申送りたるに對し水野組合長は組合としては重大問題だから一個の意見で決定なし難い何れ緊急理事大會を開き方針決定しての上でなければ發表なし難いと語つて居る

▼町營魚市場銀行磐城水產工業會社に向つて町當局よりの交涉は取得步合を減殺すべしとの事で各幹部は之れに對し深甚の考慮を拂ひ討究中だが何を云ふても同會社々長は町長であるから一町財政上に重點を堅く當局の方針に反對する譯けにも行かず痛し痒しの板挾みを受けし內部的に相當衝擊を見るに至る模樣である

磐中の卒業生
志望調べ

愈々今七日晴れの卒業式を終りそれ〴〵輝かしいスタートを切つた磐城中學校の卒業生百八十四名の志望別は左の如くである（五十音順）

高商赤津善衛、高工秋山仁市、就職阿久津尻、就職明智博、海兵安孫子貞男、山高阿部新平、高商阿部豊司、水高菅戶兵司

高師石黑武雄、就職石坂幹雄、福師石井吉男、外語伊關修三、陸士磯上加衛、就職泉已代次、就職伊藤淸、水高伊藤茂、高工伊藤豊、慶大岩崎憲太郎、商船飯尾貞夫、就職臼井一郎、鑛專瓜田久雄、就職植松茂、高工江連了兒、陸士小倉納昭、鑛專太田武行、高工大塚靜義、福師大友美寶、高工大平泰介、高工大平九十一、就職大平芳松、陸士大間順三、水高大森昌一、甲種飛行豫科河野和平、海機影山忠英、就職片寄一男、甲種飛行豫科片寄藤次、高工片寄博、家業片寄勇太郎、就職勝倉文雄、就職勝沼俊也、醫專上遠野馨、陸士川上正義、水高川角淸、二高加美山啓介、水高北郷繁、日大木田茂義、高商木田志雄太、就職木田敏夫、就職草野仁良、高農久栖國道、帝大桑島茂光、就職久保木文夫、山高栗原欣一、二高小林正久、高商小林通繁、就職小松公平、高商小柳幸男、高商齋藤儉一、醫專齋藤孝正、商專齋藤武、就職齋藤利夫、音樂齋藤久、水高佐川正人、陸士坂本勝信、就職坂本繁、高農酒井明、高農酒井弘、文齒科醫專佐々木高伯、就職佐々木良夫、甲種飛行豫科佐藤正、鑛專佐藤久二郎、二高佐藤守、家業佐原久治、就職鮫島信雄、商大志賀純一、高工志賀秀直、高商四家貴良、就職志田茂好、師範柴崎秀典、就職鹽田靜雄、高工白石長兵衛、二高白土弘、商大白土良平、外語白井敏、文化曾田甫、就職杉浦直、就職鈴木一二、高工鈴木慶一、就職鈴木駒之助、高商鈴木重虎、高工鈴木誠一、高工鈴木健夫、早稻田第二鈴木忠三、就職鈴木弘之、二高鈴木康男、高等無線末永勝、海兵鬪幸雄、福師圓部健次郎、茨師薗部隆一、福師高木孝一、二高高木秀夫、高工高倉三郎、福師高萩政享、高工高橋善雄、就職高原四郎、日大立花長造、高工田中宗太郎、福師千葉明、就職富岡定良、遞信官吏豊島充夫、高商中川信一、早稻田第一永島友貼、就職永山定美、陸士長山義彥、早專生田目耕平、就職新妻時夫、水高根本忠雄、高農根本透、二高根本芳弘、高工根本義男、美術野木健男、高工橋本堅、就職橋本源藏、商大橋本光雄、新高八田宗市、水高濱崎廣太郎、商大濱島曉、高商比佐秀雄、海兵菱沼三郎、高商蛭田丈夫、就職舟生保久、就職振旗武男、醫大戶來盛、水高蓬來信明、家業星野喜四郎、高商堀越改造、福師松浦孝、陸工松崎至男、二高松田良太郎、高工馬目一郎、鑛專馬目大二、高前田春雄、臺北三谷實雄、測候技術水野谷市郎、外語綠川浩行、高齒宮澤光伸、就職室越廣美、就職森笠仲族、實業八代英、高工矢代弘文、福師矢野浩一、高商山崎道雄、實業山田二郎、二高山野邊武、就職遊佐善夫、商大橫內直寬、就職吉江德、就職吉田一與、陸士吉田三郎、二高吉田尙、福師吉田武、遞信吉田豊司、甲種飛行豫科吉田伴四郎、甲種飛行豫科吉田等、高工吉田浩、就職渡邊和夫、臺中師渡邊正保、就職渡邊正夫、福師渡邊裕、一高渡邊與志雄、水高和田浩美、青山師豬狩三良、高農豬狩二郎、就職遠藤幸春、高工遠藤芳行、齒專遠藤吉雄、就職岡部泰壽、慶大小野雕、高工小野忠弘、就職小野富房、一高小野文雄

JOHK

今晩の部

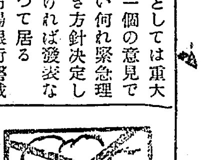
▼後六、〇〇　お話「松三敏胤大將鈴木小右衛門」
▼後六、二五　國際文化講座「青年國チエッコスロヴアキア」外務事務官吉田賢吉
▼後七、三〇　國民歌謠（大阪より）「乙女の春」（今中楓溪詞森正雄曲）「母の歌」坂谷節
▼後七、四〇　講演「南京航空戰に就て」海軍大佐千田貞敏

明日の部

▼後七、四〇　講演「獨伊の印象」中野正剛
▼後八、〇〇　詩歌朗詠　岩宮榮路外
▼後八、三〇　輕音樂マンドリン合奏「伊太利少年行進曲」グルウ・マンドリン・アンサンブル
▼後八、五五　オペレツト「マスラタケオ」淸水將美外

可愛ラシイお子様方ノ新御入學ガ
◇近ヅキマシタ◇
學生靴學生帽子
御用意ハ何卒弊店へ
ランドセル　1・30……5・80
手提鞄　98……3・80
通學用男女帽子豐富陳列
ツルヤ　電一四〇

產婆看護婦
生徒募集
願書締切　四月六日
修養年限　兩科を通じ一ヶ年
平市元丁一目
新築校舍　平市搔摃小路
石城產科婦看護婦學校
校長　鷹崎千代
電話三五七番



白柄劍風道

大島多聞夫作
井川洗厓畫
市施長春畫
村瀨春映畫

……三八三……

紀州脫走［五］

追ッ駈けて來たのは三人であつた。いづれも大納言紹宣の腹心あるを聞き知つて、戰國時代からの浪人してゐるのが仕官のために來たのらしい。それを城代家老の牧元次郞が今己の邸內に置いてある。もう既に牧元次郞が大納言の指嗾となつて反逆の計畫をめぐらしてゐることは明かであつた。

『駄目だ！　たう〳〵逃がしたか歸らう』と、云ひ出して引き上げる形勢だつたが、不圖から娘に氣がついたらしい『おうから娘があるぞ、若しや娘に隱れて居らんかな！』

『うむ、さうだ『娘を探して見やう』

と、三人は寄つて來る。

五左衛門は最う絶對絶命であつた。しかし、隱れおほせるだけ隱れて見やうと思ひ乍ら、まづ傍へてゐた竹筒からスラリと短刀を拔いて腰を屈めてゐた。

跫音が近づいた。一步また一步月の面影で三人の影が、長く大地から壁へかけて描き出された。

『覗いてやらう』

と、直に、五左衛門の屈んでゐる上へ來て覗かうとした。

三人の眼が六つ往來に燦つた。五左衛門の闘志は猛然と起つた。先方が覗かんとして腰を屈める刹那――

猛然躍りかゝれば、三人は脚を薙ぎ倒されて、アッと叫び乍ら轉倒しに崩れた。それと見た五左衛門はヒラリと往來へ飛び上つて走つた。

が、一發、二發、つゞいて銃の音が響いた。バタリと五左衛門は倒れた。遂に無謀な五左衛門も鵬城下の露と消えたのか。ダッ、ダッ、ダッ、と迫つて來る跫音がしたが、これも種ケ島の短銃を携へた逸に樹のある浪人らしいのが隱れてゐる五左衛門の傍らへ寄つて來た。じつと眺めて又短銃を向けて狙つてゐる。間一髮、五左衛門の刀を持つ手が延びると、その浪人の足をグサと刺した。

また一發。

だが、彈は空に向つて飛んだ。その瞬間、五左衛門は起ち上つたが、立上らうとした浪人の鼻先深くえいとばかり斬下げた。

『う――む』

と、斷末魔の叫び聲。

五左衛門は後ろも見ずにヒタ走りに走つたのであつた。かすかに後ろの方で人々の喚く聲が斷續して聞えてゐたが、そんな事には一向に頓着せずに、刀を竹筒に收めてドン〳〵と走つた。

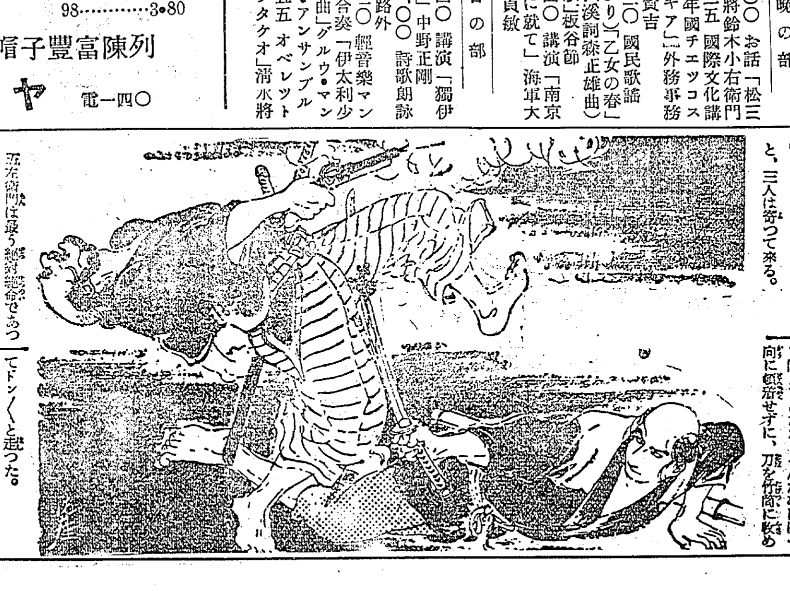
やうやく街を離れて雜木林のあるところまで馳拔けて來た。ホッと安堵の息をついた五左衛門は、刈取つたばかりのまだ生々しい稻叢の上へグタリと疲れた身體を倒して了つた。

やがて、月の燈々と輝いてゐる光を透かして、四方を見廻した。東の方二三町の向ふに、蜿蜒として續いてゐる松並木が、屏風のやうに暗い夜の間に描き出されてゐる。

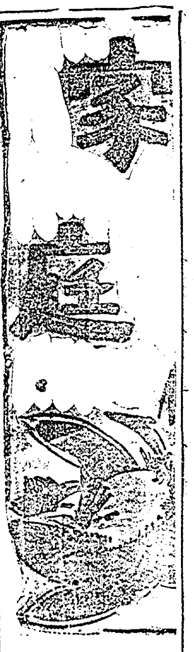
『うむ！　あの街道が和歌の浦へ行く路だ』

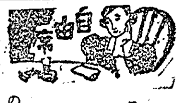
と、五左衛門はまた注意をして靜かに這ふやうに松並木の方へ進んで行く

やうやく五左衛門は松並木の蔭の際までたどりついた。なほ要心深く眼を八方へ配つて、街道へは出ずに、蔭に添ふて這ふやうに和歌の浦の方面へ行くのであつた――。



家庭





夫婦生活の協力

高見順

われ〳〵が今日の家庭生活を反省し、考慮する時、まづ今までの夫婦生活に、ありがちな考へ方を、女性は改めなければいけないと思ふ、從來の夫婦生活では妻が良人の庇護的存在であり、妻もそれに何等の疑惑もさしはさまず、良人の眼を通して社會を見己れを見て來たのが、世の常であつた、そして、それが婦道だと考へられてゐた、云ひかへれば、良人の庇護に如何に順應すべきかといふ事にあつた然し、その後思想の波の高まつた時、女性の獨立性が一部の婦人の間に叫ばれ、それが嵐のやうな勢ひで一般の女性の間に浸透した。

だがそれもやがては思想の波の引くのと同時に退返し今度は反對にそれが女性が男性にいどみかゝる形であらはされた、つまり女が男に挑戰する事によつて女性の向上とし新らしい婦道とした、がそれも時日を經るに從つて誤りである事が指摘され今日の夫婦生活は男と女とが協力して營むべきであると云ふ事になつた、夫婦生活が社會生活の一單位であるといふ自覺からごいて來たのである。

形では庇護的であるが內面には立派な協力の組織で結ばれてゐなければならないと云ふ事になつた。

男性への隷屬から挑戰へ、挑戰から協力へといふ段階を經て來たそれ故經濟的責任を良人が持つてゐるからといつて妻が隷屬的であるといふ意味にはならない、たとへ形はどうあらうとも、その底に協力の組織があればいゝのである、今日の家庭において、夫婦の協力こそ新らしい夫婦生活へ期待するもつとも大事な事だとおもふのである。

―家庭メモ―

△金網で食品を燒く際　金網で肉や魚類等をお燒きになる際、あらかじめ網全體にラードなり胡麻油なりを一面にぬつておきますと材料が網へこげつくのをふせぎ

非常時はお召物の節約を

日本は世界一

着道樂の國民です

日本24着

英國四着 米國七着

日本人ほど衣服を多く持つてゐるものはない各國民の平均を見ますと、英國四着、米國七着、日本人二十四着と云ふ數字があげられてゐます、もつとも、日本は氣候の關係で他の國々と比較して多く必要なことはみとめられてゐますがさりとて、その平均數の二十四着は多いではありませんか、これを生計總額に對して衣服費のパーセンテージを出して見ますと

△俸給生活者一三・八二%△勞働者一二・九%

△自作農八・五%△小作農六・八%

となつてをり、俸給生活者が一番外見をかざることになつてゐます、政府は、長期作戰に備へて國民の緊張をのぞみ、物資の節約を叫んでゐます、さらに事變の影響をうけて物價は騰貴しつゝあり家計は目に見えてくるしくなつて來ます、この場合、食費の節約は、さくべきであつて、自然この點の多い衣服に注目される事になりませう

―そこで自製 これが何より

自分で出來るなら織るなり染めるなりして出來る限り安いものを活かしませう

今日の日本の女性として一番必要なことは、國家の緊張に感じられる被服について廣く大きく着目したならば、國家的にも經濟的にもつとむだのない生活が出來るのではないでせうか、機械紡績に壓倒された家內工業の殆どが工場の生産となり、商品となり人間の欲望がデパートの商品にのみ滿足させられるやうになつたためはなげかはしい事ながら、文化にともなつた現象とみればやむを得ぬとしても、それはあまりに

服飾 に對する觀念が小さすぎるとおもひます、古來衣服は工業でなく、工藝の製作であり自己の生産であつたのです、今時局にのぞんで自分の心にはつきりと開くならば、日本人が持つ大きな美のあこがれは贅澤の被服でもなく虛榮でもなく、しかして機械工業の生産でもなく、それ以上に何物かを求めつゝあるのです、その結果最近において復古的に手織の木綿、或ひは八丈織又は毛をつむいだホームスパンなどのやうに、染色から織まで人間の手で製せられるものに共通趣味家內工藝のよさを味はされてゐます、かうして服飾美が自然人間の手で生れ生産される事こそ最も望ましい事で、幸にもめぐまれた日本人はどの國人より器用であり、藝術的であり、婦人は天性技藝の素質をそなへてゐる點、海外の婦人に劣るとも劣りはいたしません、一枚の着物にしても模樣、色、型は日本人ならではわからないものでせう

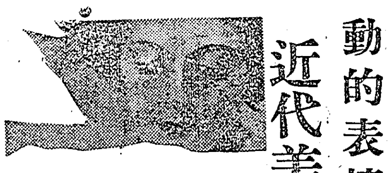
私共 は結局これらの特徵をもつと個性的に活かして元來の習慣にとらはれず大膽に進んでみたいとおもひます、新しくつくる場合、一本の帶にしてみれば模樣のない安い無地ものを買つて染色するとか、或は刺しう、絽刺の樣なものを取りあはせるとか、ふるい無地の刺繡など若いお孃さんは小さな刺しうを入れてドレスに再製したらどんなにか有意義に使へると思ひます、かうしてむだのない

生産 がやがて國家的經濟の一片となり、工藝の一般的價値があらはれて銃後をまもる女性の組織ともなります、むだのない生活……はまづ「衣」にもつともあるとおもひます（小林手藝研究所長小林政子氏談）

動的表情美は

近代美人の條件です

◇……美しい齒が全體を支配します



いつの時代にも明眸と皓齒は美人の必須條件です、殊にモダンな動的表情美を求めるには、眼より、むしろ口許の表情が物をいふのではないでせうか何にせよ美しい皓齒と云ふものは若さにも比例して

お洒落 とは切りはなす事の出來ない存在です、齒がよごれてゐるのでしたら、まづ齒ぐきのところに附着してゐる固い齒石を齒科醫で除去してもらひ、齒の表面に頑固に着いてゐるよごれを取り去りエンヂン用の毛ブラッシとゴムブラッシで綺麗にみがいてもらひ、後は自分で毎日齒ブラシを使つただけで充分綺麗になつてゐます、半年に一回、齒科醫に行けばいつも **綺麗に** してをられます

齒を白くする事だけを極端に目的とした粗い齒磨き等を毎日使用するのは丈夫な齒の表面を磨り耗すので危險です、しかし齒そのものの色がわるい場合はいくらみがいても無駄ですから、たつて白くしたいのでしたら齒の表面を薄くけづりとり陶材でつくつた冠を入れるより他に方法がありません、陶材ならばどんな色でも

御希望 通りにつくられます、又齒が白くしたいといつて齒科醫に行かれる方の中には齒がすでに腐齒になつてゐるために色がかはつてゐる方が澤山ありますがこれは勿論腐齒の治療をしてその後前述の陶材で齒質の缺けた部分をおぎなへば充分前のやうに或ひは以前よりも美しくなります

冬の洗濯は 主婦泣かせ

早く乾かす工夫は？

◇―寒いときはなか〳〵洗濯物も一日ではかわきませんし、その上雪や雨のお天氣のつゞく[illegible]と子供さんの多い御家庭などは洗濯物がたまつて〳〵こまるものです、部屋の中や廊下にブラブラかけておいては體裁もわるく容易にかわきません、そこで、ひとつ次のやうな物干部屋をつくつたらいかゞでせう

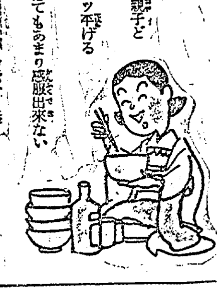
◇―廣さは三尺四方、家の隅の小さな戸棚、[illegible]は廊下の一隅を利用します、一方は袖戸、あるひは開き戸とし、三方はすつかり亜鉛板で張つてしまひます上の方に、小さい通氣を拔く穴をつくつておきます、そして、一間の高さに釘を兩側に何本も打ち丈夫な針金を張りわたします

◇―これにせんたく物をかけ、下には小さい火鉢をおいて火をおこし、萬一せんたく物がおちても心配のないやうに金網をかけておきます これで出來上りです、湯氣がどん〳〵上の窓から出て行き、とてもよくせんたく物がかはきます、費用も格別かゝらず、とても便利で、ぜひ一つつくつておきたい設備です火鉢には木炭など使へば時々入れかへる必要なくてよいとおもひます

ほくろ十態

口の下にほくろがあつたら大變です、その人は無類の大食で一生喰ふ食に苦勞します、見合の時にこれは好く注意して御覧すべきです。

第一御婦人で親子どんぶりの四ツ五ツ平げるのを傍で見てゐてもあまり感服出來ない圖ですからね。よく〳〵御注意の事。



風呂のわかし方

對流作用の應用で 石炭と時間の經濟

問…自宅で風呂をわかしてゐる向では寒くなると燃料が餘計にかゝるのでこまると、いつも主婦の惱みの一つにとり上げられます

答…燃料にもいろ〳〵ありますがこゝには石炭を例にとつて見ませう

答…まづ、湯ぶねには始めからいつぱい水を入れてはいけません、釜が水を被る程度にすくなく入れておきます

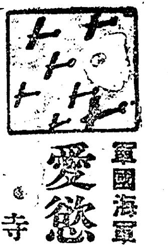
問…それはなぜかと申すと水の量が多いと水の重みのためにわくに從つて[illegible]

[illegible]んなことか對流は物理學の用語ですが簡單に云へば溫度の不平均から起る循環運動です、水の場合その量が少いと釜の近くは勿論上部のつめたい水がはやくあたゝまりあたゝまつた部分の水が動き出します、さうするとつめたい水がそのうごいた後へ向つて行きこゝに循環運動をおこします

答…この理屈を風呂をわかす時に應用します、そしてあたゝまるにつれて對流作用をじやましない程度にすこしづゝ水をくはへてわかして行きます、これが經濟的なわかし方の急所です、湯があたゝまつて來た時湯ぶねの中をのぞいてごらんなさい流れをつくつてゐるのがすぐにわかります

問…つぎに問題の石炭ですこれは始めに火のつきはすこし位惡くてもちひさすぎる片よりも相當に大きいものゝ方が火力を外にうばはれずにすみます

答…石炭をくべる時に少すぎてもこまりますがみおかい人は早くわかさうとしてむやみに放り込みかへつて通風をさまたげ完全に燃燒したい場合があります



軍國海軍小說

愛慾非常線

（[illegible]上映及上演）

寺崎洋々洲作

松村秀彥畫

……船一三……

失敗（七）

『楠田は憲兵隊から借りに來たので借して遣つた』

正體に有る者であるから是非も無しと思へば新納部長は左の氣にも留めず

『あゝ左樣ですか……』

と答へた後

『其の後何もお聽き込みになつた事はありませんか』

宿直警部はヂロリと新納部長を見上げ、

『是れと云つて別に無いが、君山田に逃げられたと云ふので警視廳始め全市の各署が大活動を開始したと云ふ事だけだ』

『えッ』

捉ては臍り首尾が良く無いと心付いた新納部長は

『左樣で御座いますか、何れ明く申上ます』

と、一同の刑事と共に署を出て我が家に歸つたが、一睡もせずに探偵方針を定めて夜が明けると同時に出勤すると署長は早出でモー出勤して居たが新納部長の姿を見るや

『新納君彼方で報告を聞かう』

『はい』

部長と共に保安課の司法別室に入つて委細の報告をすると。

『左樣か御苦勞だつた』

と、聽く聞つた署長に威儀を正して

『時に新納部長、君は今日限り辭表を呈出して貰ひ度い』

と、云ひ作ら手にせる煙草に火を移した。

新納部長は宇野署長からの辭職勸告を聽いてハッと驚き

『エッ…… 何んで御座います署長』

と、云つたなり、暫しは二の句がつけなかつた、署長は殊更に聲を荒らげ

『君は耳が聞こえんのか、今日限り辭表を出しなさいと云ふのだ』

捨ては大切なる犯人山田を逃がした爲めに斯くの始末かと無念の涙をハラ〳〵と流した部長は、

『ご……御尤もで御座います、自分の不明から正犯を逃がしましたのは實に何んとも申譯が御座いませんが、何を申しますにも』

署長は一寸椅子を離れて

『おい〳〵新納君、俺しは君の云ひ譯を聽かうと云ふのでは無い』

『否え失敗して云ひ譯を致すので御座いませんが署長、何うぞ私にモー十日間の御猶豫を下さいませんか、必ず捕縛してお目に掛けますから』

『新納部長、夫れは不可、斷じて許す事は出來んよ』

卓上に兩手を衝いて頭を下げた部長は

『署長萬一にも他署の手に彼の山田を捕縛されるやうな事が有りましたならば、其の時こそ腹を切つて申譯を致しますから、どうかもう十日間丈け現職に置いて下さいまし、是れ此の通りで御座います』

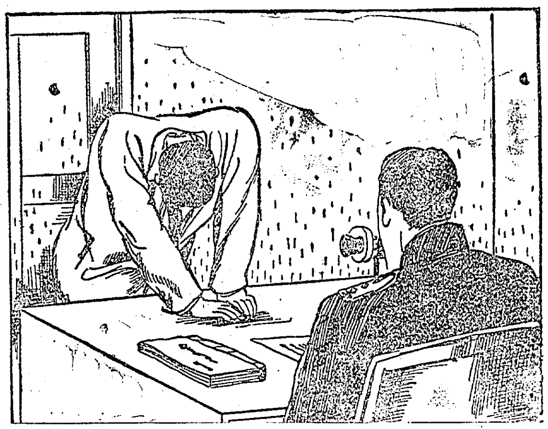
と合掌して署長に迫ると

『然し新納君、君は他署の手で捕縛されたら腹を切ると云ふが夫れなら何故昨日アンナ失敗をしたのだい』

『…………』

『僕は君を信賴すればこそ內命まで授けて出張させたのに……

……』



三井タクシー
平二 電話 六八五番

內科 外科 一般
金成醫院
金成忠義
平市鎌田町 電話三五八番

クレオソート 壹圓貳拾錢
精製コールタール 壹圓拾錢
鐵材 工具 金物
平市仲町通り
(文) 山田文一商店
電話二六二番

生徒募集
古き歴史と理想の學園
向學の青少年は來れ！
本科（中等義務教育）壹百名
受驗科（各種受驗準備教育）五十名
研究科（專檢、高檢、教員檢定受驗）若干名
本校卒業者並、同程度學力者
創立明治三十八年
平市城山 磐城青年學校
學校長從五位勳五等 本田忠綱

生徒募集
◎願書受附 三月三十日迄
本科（二ケ年卒業）一年五十名
裁縫專修科（二ケ年卒業）一年百名
師範科（一ケ年卒業）二十名
專攻科（一ケ年卒業）三十名
本科、裁縫專、修科二年補欠入學 若干名
「附設」洋裁科（六ケ月修了） 若干名
◎詳細ハ學則請求ノコト
文部大臣認可 藤田女學校
平市田町（電話三二八番）

家具作製卸
橋本屋木工場
平市新川町（電一六三番）
◎見習徒弟入用優遇す給料面談

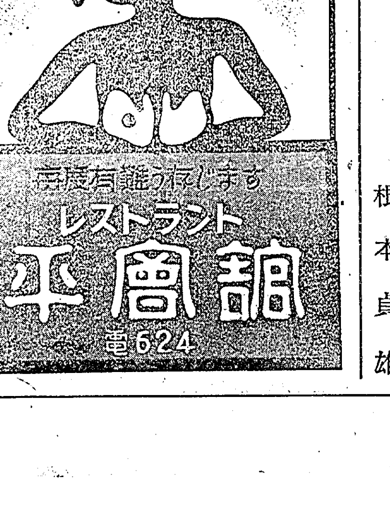
[illegible]科專門
大和田醫院
平市南町一六（電話一七〇番）

◎評判の美味しい
"みつ豆"始めました
蜂密入フルーツ みつ豆
東京風アン みつ豆
電話二八 福壽軒

北川外科
外科一般 レントゲン科
內臟外科 泌尿器科
平市新川町二七（電話四六四番）
醫學博士 北川芳夫
技師 三浦常保
◎晝夜診療 イツデモ入院出來マス（血液檢査每日）

美味！ 芳醇！
たひら正宗
山崎合名會社 電話一〇番

國旗と提灯
平四 スガノヤ 電九五



良酒と洋食
經濟本位
宴席有難う存じます
レストラント
平商舘
電624

是非！
御融通には御用命下さい萬事便利な御相談に應じます
公債、債券、質物一般
三井質店
平四 電話六〇六番

若き日の思ひ出に
是非!!! 記念撮影を！
皆様の御進級と御卒業をお喜び申上げ破格の割引致します。何卒御來館下さい。
小型六枚 五十錢―
◎晝夜間撮影
宮田寫眞館
平市鍛冶町 電話二四六番（呼）

かまぼこ 折詰仕出 製造
お惣菜用、さつま揚、吉原揚……
天保寅
平市一丁目 電話一四一番

病室增築、手術室完備
產科 婦人科 醫學博士 五十嵐雄一
平市新川町 電話三六九番

一齒科一般 保存科補綴科 小兒齒科 齒列矯正科 齒槽膿漏科
一口腔外科 一レントゲン科
中野齒科醫院
平市田町（松月堂向ひ） 電話五〇九番
院長 醫學士 中野惠次
日本齒科 醫學士 西川誠

產科 婦人科 根本醫院
平市南町五二【電話四三番】
根本莊次郎
根本貞雄
（入院隨時）